

緑のしるべ

～ミニ情報～

平成29年9月21日 発行
〒300-0504 稲敷市江戸崎甲541
Tel:029-892-2934
稲敷地域農業改良普及センター

飼料用米・輸出用米検討会を開催



8月1日、水田農業支援センター及び河内町古河林の現地ほ場において、管内の生産者、関係機関40名が出席し、「飼料用米・輸出用米現地検討会」を開催しました。

室内検討では、県産地振興課より飼料用米の作付推進について、農業研究所より飼料用米多収栽培のポイントについて、県西地域輸出用米協議会石島会長よりアメリカへの米の輸出拡大に向けた取組について説明がありました。

現地検討では、輸出用米「ハイブリッドとうごう3号」現地ほ場を視察し、意見交換を行いました。検討会は盛況に終わり、終了後も若手生産者が石島会長を囲み議論を交わし、新しい取り組みへの意欲が伺えました。

カガミクリスタルのイベントにて花の展示を行いました

7月15、16日に龍ヶ崎市のカガミクリスタル（株）で行われたアウトレットセールイベントにおいて、ケイトウやヒマワリなど、稲敷地域で生産した花を活用し「グラスに花を飾ろう」という提案を行いました。ロックグラスと花の相性は抜群で、お客さんからも「グラスと花の相乗効果でより美しく見える」などの反応もあり、花の新たな消費拡大につながるヒントを得ることができました。



の反応もあり、花の新たな消費拡大につながるヒントを得ることができました。

「もっと産直！」

近日発行予定

今年、3月に美浦村に「みほふれ愛プラザ」が設立されたのをはじめ、今後も平成31年には龍ヶ崎市、平成32年には阿見町で相次いで道の駅がオープンする予定です。

そこで、普及センターでは、今後の稲敷管内の直売所運営における特色ある品ぞろえの気づきのための資料として「もっと産直！」を作成しました。注目の野菜、花、農産加工品の提案など、盛りだくさんの内容です。ご希望の方は稲敷普及センターまでご連絡ください。



GAPの取り組みについて



農産物の安全性に関わる認証制度の一つにGAP（Good Agricultural Practice、農業生産工程管理）があります。自身の農業活動の中で、食品安全、環境保全、労働安全の3つの分野の点検を行い、問題を見つけ出し改善策に取り組むことでより良い農業を目指すものです。

稲敷管内でもいくつもの団体がGAPに取り組んでいます。JA稲敷蓮根部浮島支部研究部では、平成22年から年3回の内部監査を実施しています。取り組んでよかった点として、問題点が明らかになり産地として防止対策を検討できる、改善を繰り返し、時間や資材等のムダを省くことで経営改善にもつなげられることを挙げています。

また、今年からJA稲敷江戸崎南瓜部会青年部でも取り組みが始まりました。7月に初めての内部監査を実施し、今後継続した取り組みにしていきたいと考えています。

どちらの組織も、将来的には組織全体での取り組みに広げ、産地全体の評価の向上につなげたいと考えています。



イネ縞葉枯病の防除を行いましょう！



茨城県でイネ縞葉枯病の発生が増加しています。県西地域の他、つくば市や美浦村など、県南地域でも発生が増加傾向にあり、発病の有無にかかわらず防除が必要になります。

イネ縞葉枯病が発病すると、葉に縞状の病斑を生じ、分げつがこより状に垂れ下がり枯死します。

また、穂はですくみとなり、籾も奇形になり減収します。ウイルス病なので、発病後の治療はできません。

【今後の対策】

①秋季耕起…ひこばえ（再生稲）は、病気を媒介するヒメトビウンカの生育場所となります。発病株を吸汁することで、保毒虫率が高まるため、収穫後は早めに水田を耕起しましょう。

②雑草管理…ヒメトビウンカは、イネ科雑草で越冬するので、越冬場所となる畦畔や休耕田等の除草を行いましょう。

【次年度の対策】

③化学的防除…6月上中旬頃に水田に飛び込む成虫と、その後発生する幼虫に対しては、育苗箱施薬が有効です。それでも抑えられない場合は、6月下旬～7月初めに本田散布を行いましょう。

④抵抗性品種の導入…抵抗性品種は、ウイルスを持ったヒメトビウンカに吸汁されても、ほとんど発病せず被害を受けません。主食用米の「一番星」や飼料用米の「月の光」、「夢あおば」などが該当します。

「いばらき農業アカデミー」開講中！

茨城県では、本年度より農業経営者から新規就農者まで幅広く対象として、「いばらき農業アカデミー」を開講しました。生産技術や加工技術、経営管理、法人化等に関する様々な講座から、自由に選んで受講することができます。講座内容の詳細や、申し込み方法については、稲敷普及センターへお問い合わせいただくか、または以下のホームページをご参照ください。

<http://www.agriacademy.pref.ibaraki.jp/>

主な講座

- ・法人化促進講座
- ・先進農業技術講座
- ・生産環境管理（土壌）講座
- ・生産環境管理（病害虫）講座
- ・農業機械基礎研修
- ・農業女子の農業機械講座
- ・農業体験講座半年コース